

図書館

長与町図書館が町のシンボルに

人と人との出会いの場

命と命が出会い、命が響き合う場として町全体で命を育み、命を未来へつないでいく

心身の健康の秘訣は「読書」＝図書館

図書館に行くとワクワクする、好きな本・読みたい本に出会える。それがきっかけとなり進路や将来へつながる図書館になってほしいです

安らぎと憩いのある町長与。これをスローガンに図書館がそのような場所になるとよいと思う。

新設図書館が地域コミュニティの中心となってさまざまな活用をしてほしい

長与町が長崎でいちばん豊かな町となるよう、図書館設立を通じて、文化を大切にする社会の構築を目指してほしいです

教育の町長与に新しい図書館ができることで、さらにアカデミックな町になり、それが人の本当の豊かさにつながっていくといいなあとと思います

多機能型の図書館

まなび、仕事、余暇、交流、生きがいのために図書館が活かされている

町民が、町立図書館を町の誇りだと思っている

新しい図書館について

- ①〇〇の乳幼児、少し声を出しても良い部屋があり
- ②軽食と飲み物空間を増やしてほしい
- ③仕掛け絵本、英語等外国語の本を増やしてほしい
- ④利用者自分でも使用できる貸出システムがある
- ⑤パソコンの持ち込み使用できる閲覧室がある
- ⑥(時間制限等して)打ち合わせで使用できる部屋がある
- ⑦講演会、イベントのほかにビジネス、雇用等に関するチラシ等置ける
- ⑧小中高生が使用を終えた教科書、ノート等のリサイクルイベントを開催してほしい

町民に愛される図書館

「休みの日には図書館へ」が合言葉になるような

図書館を中心にしたネットワーク化

図書館を核にした町づくり

図書館資料の中心は、紙媒体から電子媒体へと移行する

町民は、町当局から配布された端末で、いつでも・どこでも電子図書館から必要な資料を利用できる

紙媒体の資料が必要であれば、図書館からの借用、あるいは端末と連動しているプリンターから印刷することもできる

資料貸借は自動貸借機で、資料の有無や配架場所への案内等はロボットが行う

図書館機能は、資料の貸借業務から、次の活動を重要な取り組みとして運営していく

町民一人ひとりの課題解決の支援

生涯学習の拠点として、情報提供、情報発信、研修会、文化芸術活動等の実施

高齢社会を支える居場所づくり、町民の活躍の場づくり、子育て世代の集いやまなびの場づくり、憩いの場づくり

あらゆる町民、団体の自主的なまなびの支援

「長与町?あの素敵な図書館がある町ね」と言われる町

幸福度

幸福度日本一の町に

長与町図書館が町のシンボルになることで環境が整い、町民の心が満たされ誰もが幸福感に満たされ住みよい町に

長寿、健康、福祉

心も体も健康で長寿の町に

心身の健康の秘訣は「読書」＝図書館

心身の健康増進を目指す町（静的活動、動的活動）

安らぎと憩いのある町長与

誰でも気軽に使えるスポーツ施設が整備され、町全体の道路がウォーキングコースになっていて、一生涯スポーツが楽しめる町

高齢社会にあって、高齢者が健康で、自分の熟練技術や技能、趣味や特技等を生かして、町や町民への働きかけを行う

就業の場、まなびの場、指導の場等さまざまな活動の場を提供し、高齢者の活躍の場を広げる

町提供の健康チェックセンサーにより、日々の健康観察を行う。データはかかりつけ医等にオンラインで送信され、病気等の早期発見、早期治療につなげるとともに、健康寿命の延伸を目指す

福祉に使うお金が十分にある町

福祉・教育・介護・子育て等のソフト面が充実した町であってほしい

自然、農業、食事、エコ

四季折々の草花と緑が豊かな長与町に

町の至るところに木々や草花が育てられ、四季折々の花を咲かせて人々の心を和ませ豊かにしてくれる

自然豊かな町(みなが集える憩いの場所が必要)

自然豊かで住みやすい町

自然に囲まれ、どの世代にとっても住みやすい町をつくってほしいです

そして、図書館が町の中心地として人が楽しく集えるような場所になってほしいです

豊かな自然はそのままに生活しやすく文化的な町

自然的景観は残しつつ、各方面へのアクセスが良く、どの年齢層も住みやすい町

自然豊かで子どもを育てやすい町

誰もがくつろげる自然豊かな町

町内の売り場に新鮮な野菜や果物等が盛沢山に

科学技術の進歩(AI機能)により、野菜や果物の栽培や出荷作業の機械化が進み、高齢者でも対応可能な軽作業となり、安定した生産が見込める

若者の担い手も増え、農業生産が盛んな町に

郷土の自然を愛しむ町

琴ノ尾岳やそのまわりを取り囲む自然の雄大さ

大村湾のもたらす恵みや長与川にやってくるカモや白サギ、自然の豊かさを大切にしようとする町

豊かな自然と共存する町

琴ノ尾岳、本川内、長与川、平木場、岡郷等の豊かな自然が大切に残されている

団地造成の仕方等を検討。現在の団地を活用して、新しい世帯を呼び入れる等

農業が盛んな町

後継者が育つ、魅力的な農業が行われている

みかんやオリーブ等、「ながよブランド」が全国に浸透している

生きている美しい田んぼや畑が残されている

農業以外の人たちが、野菜づくりや果物づくりを継続して体験でき、長与の農業をもっと身近に感じる事ができる仕組みや施設、場所がある

「〇月の長与と言えば、□□□だよな。」という、魅力的な自然や植物、場所がある町

たとえば、白木峰のコスモス、干拓地のシチメンソウ、波佐見の一本桜や棚田、仁田峠の紅葉、長串山公園のつつじ、福島町の玄界灘の夕日に輝く田植え時期の棚田のようなもの。50年後を目指していまから計画的に取りかかればできるんじゃないかと……

自然が豊かで四季が感じられる町

自然が近くにあるのでそれを活かした体験、交流、人的交流ができるように

地元のおいしいものが食べられる町

海と山の美しさが保全された町

農作物を活かした第6次産業、食品の販売や飲食業が盛んな町

自然を残し、自然と親しめる町

循環型でゴミの少ない町

自然環境がよい

東京都内だと、林試の森公園のようなセントラルパークがあり、地方よりも緑地を整備している。また、高尾山もあり、自然にふれ合う環境も多い

自然にふれ合える環境の確保が必要

自然エネルギーを利用してクリーンな町に

ガソリン・アルコール等の燃料や電気等自然エネルギーを利用したものに変わり、地球環境に優しい町にエネルギーを自然の力で賄える町

子育て、人育て

地域全体で子どもたちを見守り育てる町に

地域、各関係機関、学校、子ども、医療・療育機関、保育所・幼稚園、放課後児童クラブ

子育てしやすい町(子どもを地域で育てる)

青少年の健全育成に力を入れる町(見守り)

高齢者と子どもの活躍の場がある

親子で利用しやすい空間

子育て支援との連携

自然豊かで子どもを育てやすい町

人を育てる町

地域全体で子どもを見守る町

晴れの日には、子どもたちが遊ぶ声がひびく町

町内で安心して出産できる町

産婦人科病院があり

病児保育施設があり

長期休暇(夏休み、春休み等)時、低学年学童保育施設があり

一人暮らし、あるいはお出かけできない高齢者のために往診、オンライン診療等システムがあり

児童館以外にも親子で参加できる保育施設があり

青少年のフリースペース

若い人たちを大事にする町になってほしい

小学生が町の地理と歴史を詳しく知っていて、町の案内ができる
中学生は自分の生活をどんな人々がどのように支えているか詳しく知っていて、感謝できる
高校生は税金がどのように町を支えているか詳しく知っていて、自分たちはこれからどう貢献できるか考えている
大人は子どもたちに、分け隔てなく愛情を注ぎ、子どもは大人たちに心を許して信頼することができる
歳をとっても、障害を負っても、元気がなくても、安心して暮らせる
子どもも大人も、誰もがお互いに、伝え合い、理解し合い、慰め合い、励まし合い、助け合う
いろんな人が自分らしくありながら、集い、寄り添って、支え合う
隣人の抱える問題に、当事者意識をもってみようとする文化が育っている
若者が活躍できる
子育てしやすい

活気、地元愛

活気ある長与町に

「長与町に住みたい。」「長与町で働きたい。」「長与町で子育てしたい。」

長与町は生活環境が整っており、若い世代が長与町から離れない活気ある町に

若い(若くなくても)人たちが、長与で何かをしようと移住して来たり、留まったりする魅力のある町

町外の人が、「この店に行きたい。」と思える、個性的で魅力的な店が集まっている

長与に買い物(食事等)に行くことがステータスとなる町

地元愛の豊かな町(地域活動を盛り上げ交流を深める)

住むことが誇りに思える町

交流、帰郷

地元愛の豊かな町(地域活動を盛り上げ交流を深める)

自然豊かな町(みなが集える憩いの場所が必要)

赤ちゃんからお年寄りまで幅広くふれ合える場所

いろいろな人が語り合う場所

スポーツや文化を通してほかとの交流が活発な町

スポーツや文化・学問合宿等を通して、レベルの高いパフォーマンスにふれ、交流できる施設・環境づくり

「おはよう! こんにちは!」あいさつの飛びかう町

子どもたちが大人になったとき、戻ってきたいと思える町

人がつながり、孤立しない町

つい、ブラブラ散策したくなる町

町民参加型のイベントがたくさんある町

隣近所であいさつし合える町

若者が「帰ってきたい」と思う町

経済、産業

地元において、生計が立つ町（地場産業を増やし、人口流出を止めたい）

財源確保・増収に向けて、AI、ロボットを活用した産業振興・企業誘致に取り組む

「教育の町長与」を一層進めていくため、子ども育成プロジェクトを産官学民金連携で推進し、AI活用等による学習支援システムを開発し発信していく。また、創造・発信基地としての町づくりを推進する。

農地集約による土地の有効活用やAIによる農作物等の管理を推進し、生産性向上や安定供給、作物のブランド化を図る

教育、まなび、生涯学習、大学

青少年の健全育成に力を入れる町（見守り）

教育の町長与に新しい図書館ができることで、さらにアカデミックな町になり、それが人の本当の豊かさにつながっていくといいなあと思います

充実したまなびの機会が得られる町へ

さまざまなまなびに対応

学習できる環境が整うといいと思います

生涯学習が充実した町

生涯学習推進の町

大学があるといいなあと思います。国際的な町、緑あふれる美しい町

文化の町、まなびの町

いまのまま、子どもたちの学力が維持され、「進んでまなぶ」「自分で課題を見つける」子どもたちが育つ

子ども一人ひとりに目を配ることができる教育環境が整った町

「人づくり」を核に据えて、子どもから高齢者までのまなびの体系化を図り、一生涯まなび続ける町民を育てる

新生児から義務教育修了までの期間、医療費、給食費無料を実施する

幼・小・中・（高・大）の一貫したまなび（長与子ども育成プロジェクト）の推進を図り、生き抜く力を育成する

産官学民連携を推進し、教育の多様化を図り、長与・日本・世界のために活躍する人材を育てる

シニア、障害者

高齢者が心豊かに生きれる町(生きがいが必要)

高齢者と子どもの活躍の場がある

高齢者が暮らしやすい町

高齢者が暮らしやすい

行き場のない障害者が集える場所。健常者とも一緒に活動できる場所

障害者スポーツもたくさんできてきてるので、長与町でのスポーツ人口も増えてほしい

障害児・者に向けて、就労支援施設数を増やしてほしい

交通

交通が便利な町(マイカーがなくても楽に目的地へ行けるように、図書館へも)

自然的景観は残しつつ、各方面へのアクセスが良く、どの年齢層も住みやすい町

交通の利便性について

免許返納した方、あるいは運転できない方のため、バスの便数を増やす or 乗り合いタクシー的な乗り物があり

町内の交通網を考える

長与は平地が少ない

町内移動をもっと便利に

交通が便利な

JRの駅を車イスで利用できるようにしてほしい

50年前、障害者でも車の運転ができることを知り、即座に行動した。いまでは多くの障害者が運転をし行動範囲が広がっている

福岡で団体で行動するときに、リフトつきバスを持っている公共団体があり、移動に利用させてもらったことがある。長与町もリフトつきバスを持って、貸出とかあればいいなと思う

車イスの人がバスに乗ることができるようになってきたが、乗降にはまだまだ不便。もっとスムーズに一般の人のように乗降できるようにならないか……

町内循環バスのある町

歴史、芸術、文化、スポーツ

長与町の歴史文化をまなべて、年代問わず人々が集う温かい場所になってほしい。

長与町が長崎でいちばん豊かな町となるよう、図書館設立を通じて、文化を大切にする社会の構築を目指してほしいです

スポーツや文化を通してほかとの交流が活発な町

スポーツや文化・学問合宿等を通して、レベルの高いパフォーマンスにふれ、交流できる施設・環境づくり

町民の芸術文化活動がいまよりもさらに盛んな町

歴史の足跡を感じ歴史のなかに生きる町

長与町がどのような歴史のなかを歩んできたのか等、新図書館構想に向けて資料館の必要性を感じる

長与からさまざまなことを全国に発信できる

伝統行事がきちんと受け継がれている

歴史文化資料館

長与の50年、100年、この町がどのように発展してきたか、被爆資料も含めて残してほしい

スポーツや文化を通してほかとの交流が活発な町

スポーツや文化・学問合宿等を通して、レベルの高いパフォーマンスにふれ、交流できる施設・環境づくり

誰でも気軽に使えるスポーツ施設が整備され、町全体の道路がウォーキングコースになっていて、一生涯スポーツが楽しめる町

暮らし、生活、住みやすさ

自然・産業・教育・福祉……

それぞれのバランスが保たれていて、豊かでみんなにとって住みやすい町

新設図書館が地域コミュニティの中心となってさまざまな活用をしてほしい

長崎でいちばん住みやすい町へ

自然豊かで住みやすい町

自然に囲まれ、どの世代にとっても住みやすい町をつくってほしいです

そして、図書館が町の中心地として人が楽しく集えるような場所になってほしいです

豊かな自然はそのままに生活しやすく文化的な町

自然的景観は残しつつ、各方面へのアクセスが良く、どの年齢層も住みやすい町

どの世代の人も住みやすい町

それぞれの世代が魅力を感じ、住み続けたい町

住民のニーズに合わせたエリア(ex. 学習、運動、遊び)を設置し、生活をサポートする町

町民が心豊かに暮らせる町

ベッドタウンからの脱却(寝るだけの町から生活する町へ)

大人も子どもも憩う遊べる町

老若男女の人口比がバランスのよい町

お引越、施設予約等行政手続きがコンピュータかスマホでできるシステムがある

コミュニティーバス（自動運転）の運行により、町内全域の交通網を整備するとともに、ICT活用により誰でもどこでもバスの利用ができる。また、買い物困難者等に対し、買い物・配達等を商店と連携し、ロボットやドローンが役割を担う

AI、ICTの発達によりバーチャルな体験が多くなるなか、町民が直接ふれ合う活動の推進とコミュニティの維持活性化を図り、互いに町づくりに参加し心豊かにくらす町

50年後は想像しにくい。できれば今のように単独で町として存続してほしい

長与町に来たら笑顔になれるような町であってほしい

2060年の日本の推計人口は8674万人だとされている（内閣府発表）。総人口が減少するなかで高齢者率は39.9%に達し、国民の2.5人に1人が65歳以上となる社会が到来することが推測されている。

現在、長崎県の人口減少率は全国上位を占めており、本町の人口も約2万8000人と予測されている。そのなかにあって、50年後もぜひ単独で「町」として存続し、生き生きと躍動する長与町であってほしい。

人口減少を極力抑えて、町としての活力を保ってほしい

安定した財源を持った行政運営ができる町

安心して暮らせる町、未来への希望がもてる町

他自治体と差別化できる特色をもった町

住みやすい

雨の日の買い物不便！

イオン・ココウォーク・夢彩都のように車で行き、雨にぬれないで買物できるようなところが長与にもできてほしい
行政施設、教育・生涯学習施設、商業施設や住居スペースを利便性・快適性等を考慮しながら適切に配置する。また、里山や海辺の集落地域も維持しつつ、第一次産業、第二次産業等の生産スペース、憩い・運動スペース、自然環境保全のスペース等を適切に配置し、自然と暮らしの調和のとれた町づくり。

官民連携が進み、いろんな活動で住民の企画を行政が支援する町

国際的

大学があるといいなあと思います。国際的な町、緑あふれる美しい町

長与に住みながら、全国、世界中に向けてできる仕事がある

多機能

多機能型の図書館

さまざまなまなびに対応

親子で利用しやすい空間

子育て支援との連携

観光案内所

公民館で図書館・役場のサービスが受けられる町

災害

計画的なインフラ整備とさまざまなリスクを予測し、災害に強い町づくり。

その他

町内の公共施設、町内の小中学校をオンラインで結ぶ

自分たちで運営できる施設

施設が整った

雰囲気がよい

長崎市中心部から気軽に行けるセントラルパークとして長与がその位置にいることもまた活性化につながると思う



